

ビデオシステム株式会社

〒606 京都市左京区下鴨松ノ木町35-1 TEL.075(723)0358㈹







フジテレビ OFFICIAL

スーパーファミコン®



取扱説明書


VIDEO SYSTEM

SHVC-FG

このたびは、ビデオシステムのスーパーファミコン専用ソフト「F-1 Grand Prix」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ゲームを始める前に、この「取扱説明書」をお読みいただいて、取扱いかたや使用上の注意を理解して、正しくご使用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

Formula1 World Championship

in Super Famicom

「世界最速」の勲章をめざして走る男たちの闘いに、
今、君はチャレンジしようとしている!
高鳴る鼓動だけがヘルメットの中に響き
時間は止まったかのようだが、
シグナルは、もうすぐ青に変わろうとしているのだ。
さあ、F-1 Grand Prixのアクセルを踏もう!

操作方法（コントローラ各部の名称と操作）

このゲームは１人用です。コントローラは、スーパーファミコン本体のコントローラコネクタに差しこんでください。



Ⓛボタン シフトダウン。

Ⓡボタン シフトアップ。

Ⓧボタン
モード・アイテムキャンセル。（ひとつ前の入力にもどる。）

Ⓐボタン
モード・アイテムキャンセル。（ひとつ前の入力にもどる。）

十字ボタン
ステアリング（ハンドル）の操作を左右で行います。また、モード・アイテム選択も行います。

セレクトボタン
モード・アイテム選択。

スタートボタン
モード・アイテム決定。
ポーズ（一時中断）。

Ⓨボタン
ブレーキ。モード・アイテム決定。

Ⓑボタン
アクセル。モード・アイテム決定。

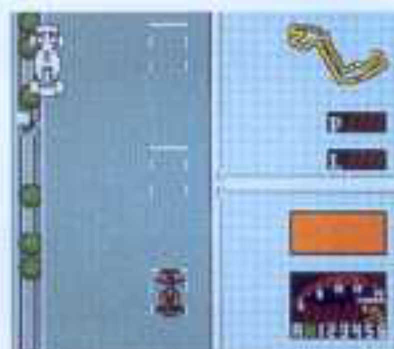
ゲームの選びかた

F-1 Grand Prixには、「FREE RUN」と「WORLD GP」の2種類の遊びかたがあります。

FREE RUN
(フリーラン)

「SINGLE」、「PRACTICE」、「BATTLE」の3つの中から、好きなモードを選びます。

■SINGLE
(シングル)



タイムアタックです。F-1 GPレースの合間に行われるテストと同じで、1台で走ります。

16コースから1コースを選び、ピットスタート。まずコースを1周したあとで、タイムアタックが始まります。
各コースの最高タイムをめざそう。



■PRACTICE
(プラクティス)

タイムアタックです。F-1 GPレースの予選と同じです。

16コースから1コースを選び、予選と同じ状態で、他の車と同時にタイムアタックします。マシンセッティングやドライビングテクニックを試してみよう。



■BATTLE
(バトル)

君ともう1台の、2台だけで走る闘いです。

対戦チームとドライバーを選び、君と1対1でタイムアタックします。シグナルでスタート/自分のレベルを確認しよう。

WORLD GP
(ワールドグランプリ)



全18チームのどれかに所属(選択)し、そこのドライバーになって、全16ラウンドを戦います。



■予選(ピットスタート)、グリッド決定、決勝レースと、実際のF-1 GPと同じスケジュールで、決勝のグリッドをめざしてください。

■予選、決勝どちらも、マシンのセッティングができます。(14ページ参照)

OPTION
(オプション)



ゲーム難易度(EASY、NORMAL、HARD)の変更やサウンドセレクトがあります。また、ドライバーの他チームへのトレードも可能です。(22ページ参照)

BEST LAP
(ベストラップ)



コースごとのベストラップを表示します。(24ページ参照)

ゲームの遊びかた

ここでは、ドライビングテクニック、マシンセッティングなどを完璧にマスターします。

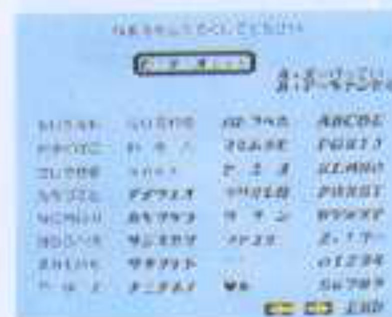
FREE RUN



①十字ボタンで「FREE RUN」に合わせ、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



②「SINGLE」「PRACTICE」「BATTLE」の3つのモードから1つ選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



③君の名前を入力します。十字ボタンで文字を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定、Ⓐ(またはⓍ)ボタンでキャンセル。



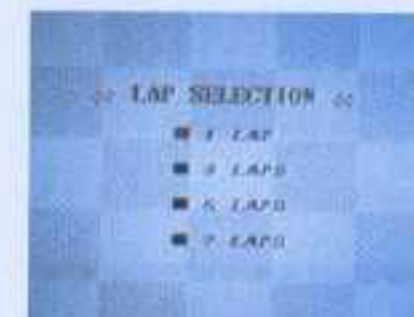
④コースを選びます。好きなコースへ十字ボタンで移動し、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



⑤チームを選びます。全18チームの中から1チームを選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



⑥ドライバーを選びます。



⑦ラップ(周回)数を選択します。



⑧マシンのセッティングです。ウィング、ステアリング、ミッション、ギア、タイア、ブレーキ、サスペンションなど、細かくセッティングしてください。
十字ボタンで設定を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで各パーツを決定します。(14ページ参照)



⑨セッティング終了。セッティング画面にもどり、□EXITに合わせて、Ⓑ(またはⓎ)ボタンを押して完了です。
さあ、FREE RUNだ!

TEAM·DRIVER & ENGINE チーム、ドライバー&エンジン

チーム	ドライバー	エンジン
マクラーレン	アイルトン・セナ ゲルハルト・ベルガー	ホンダ V12 RA121E
ティレル	中嶋 悟 ステファノ・モデナ	ホンダ V10 RA101E
ウィリアムズ	ナイジェル・マンセル リカルド・パトレーゼ	ルノー V10 RS3
ブラバム	マーティン・ブランドル マーク・ブランデル	ヤマハ V12 OX99
フットワーク	ミケーレ・アルボレート アレックス・カフィ	ポルシェ V12 3512
ロータス	ミカ・ハッキネン ジョニー・ハーバート	ジャッド V8 EV
フォンドメタル	オリビエ・グルイヤール	コスワース V8 DFR
レイトンハウス	マウリシオ・グージェルミン イヴァン・カペリ	イルモア V10 LH10
エージーエス	ガブリエーレ・タルクィーニ ファブリツィオ・バルバッツァ	コスワース V8 DFR
ベネトン	ネルソン・ピケ ミハエル・シュマッハー	フォード V8 HBシリーズ5
ダラーラ (スクーデリア・イタリア)	エマニュエーレ・ピロ ジェイ・ジェイ・レート	ジャッド V10 GV
ミナルディ	ピエルルイジ・マルティニ ジャンニ・モルビデリ	フェラーリ V12 M3
リジェ	ティエリー・ブーツェン エリック・コマス	ランボルギーニ V12 3512 EV03
フェラーリ	アラン・プロスト ジャン・アレジー	フェラーリ V12 ティーポ291
ラルース	エリック・ベルナール 鈴木亜久里	コスワース V8 DFR
コローニ	ペドロ・マトス・チャベス	コスワース V8 DFR
ジョーダン	ロベルト・モレノ アンドレア・デ・チェザリス	フォード V8 HBシリーズ4
モデナ	ニコラ・ラリーニ エリック・バン・デ・ポール	ランボルギーニ V12 3512EV03

MONITOR 画面説明

●ダメージインジケーター
タイヤの摩耗・グリップ力を表示。ウィングの損傷によるダウンフォースの低下。

●コーナーサイン
コース前方のコーナーを指示。

●フラッグ
レース中のアクシデントなどのシグナル。

イエローフラッグ
コース前方でアクシデント発生。

グリーンフラッグ
先に出されたサインが解除されコースがクリアー。

レッドフラッグ
大きなアクシデント、急なレースコンディションの悪化によるレース、プラクティスの中断。

ブルーフラッグ
追い越しシグナル。後方からスピードの速いマシンが接近中。

ホワイトフラッグ
コース前方に周回遅れの車など、徐行中の介入車あり。

チェッカーフラッグ
決勝のファイナルラップに突入。

	**ゆるいコーナー**	Rの大きなコーナー。
	**直角コーナー**	市街地コースなどで、90°に曲ったコーナーや、急なカーブ。
	**急コーナー**	ヘアピンやS字コーナーなど、Rの小さなコーナー。
	**シケイン**	シケイン（減速のためのクランク状障害）。



●コースポジション
プレイヤーのコース上の位置を表示。

●ポジション
プレイヤーの現在の順位を表示。

●ラップ表示
現在の周回数を表示。

●LCD（液晶パネル）
タイヤ交換や修理などのピットサインやメッセージをデジタル表示。

●タコメーター
エンジンの回転数をデジタル表示。レッドゾーンはオーバーレヴ。

●スピードメーター

●シフトポジション
シフトが何速に入っているかを表示。

MACHINE SETTING マシン・セッティング

①十字ボタンでセッティングパーツ(箇所)を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。

②次に、十字ボタンの左右でセッティング・アイテム(項目)を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



MISSION(2種類)

AUTO (オート):アクセルとブレーキだけで操作します。(オートマティック仕様)

SEMIAUTO (セミオート):アクセル、ブレーキ、そして変速を加えて操作します。(セミオートマティック仕様)

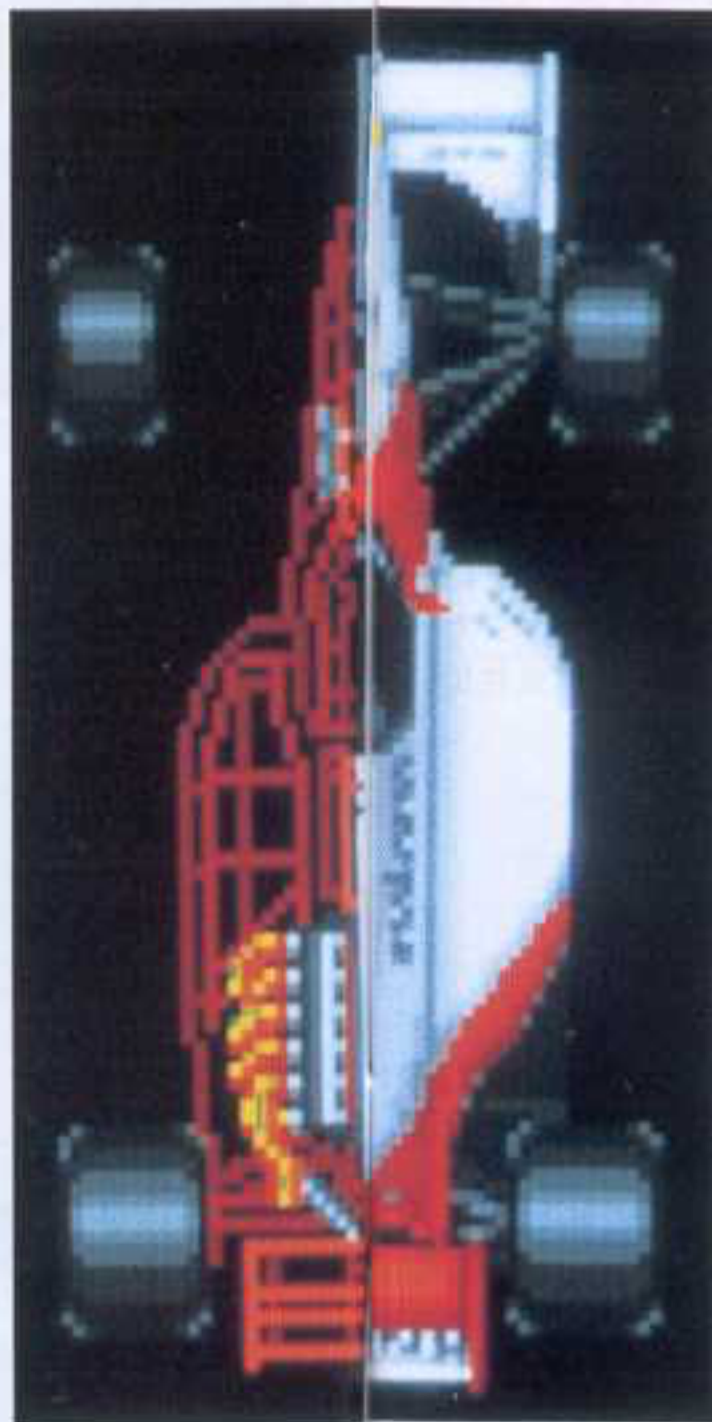


GEAR(3種類)

LOW (ロー):テクニカルサーキットでの、加速重視のセッティング。加速は良くなりますが、最高速が伸びません。

NORMAL (ノーマル):ノーマルなセッティング。

HIGH (ハイ):高速サーキットでの、高速重視のセッティング。最高速は伸びますが、加速が悪くなります。





WING(3種類)

30°:高速サーキットでの、最高速重視のセッティング。直線は伸びますが、コーナリングが厳しくなります。

45°:ノーマルなセッティング。

60°:テクニカルサーキットでの、コーナリング重視のセッティング。コーナリングは楽ですが、直線での伸びが落ちます。



BREAK(2種類)

HEAVY (ヘビー):ブレーキの効きは良いが、耐久性に劣ります。多用すると、効きが悪くなります。

NORMAL (ノーマル):ノーマルなセッティング。



STEERING(3種類)

LIGHT (ライト):ステアリングのきれるスピードが速くなります。

NORMAL (ノーマル):ノーマルなセッティング。

HEAVY (ヘビー):ステアリングのきれるスピードが遅くなります。

SUSPENSION（3種類）

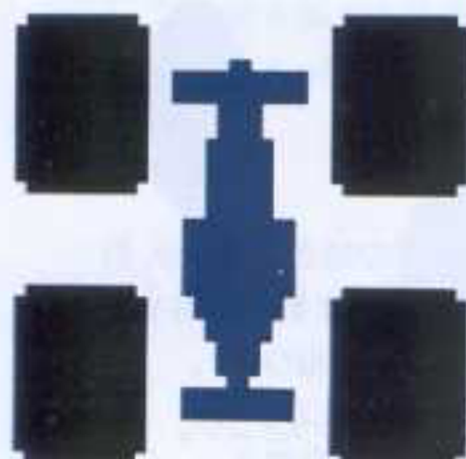


SOFT（ソフト）：コーナリングでの追従性は良くなりますが、ロールしやすく、空力に劣ります。タイヤの磨耗は少なくなります。

NORMAL（ノーマル）：ノーマルなセッティング。

HARD（ハード）：コーナリングでの追従性は悪くなりますが、ロールしにくく、空力に優れています。タイヤの磨耗が多くなります。

TIRE（5種類）



Bタイヤ：本選用。堅めで、グリップ力はやや劣りますが、耐久性に優れています。

Cタイヤ：本選用。柔らかめでグリップ力はありますが、耐久性がやや劣ります。

Rタイヤ：本選用。雨天の時使用します。

Qタイヤ：予選用。グリップ力は抜群ですが、耐久性に劣ります。

RQタイヤ：雨天時の予選用。Rタイヤに比べグリップ力はありますが、耐久性に劣ります。

マシンセッティングは、コースや自分のドライビングテクニックを考えて行ってください。セッティングを間違えると、うまく実 力を発揮できません。

WORLD GP

今日から君もF-1パイロット！

FREE RUNできたえた君のテクニックとセッティングは、もう、十分に通用するはずだ。これからは、世界をまたにかけて、戦いの連続が君を待っている。
さあ、出かけよう！
世界で最も速い男！の称号を手に入れるために！
16の華麗で苛酷な戦いの中へ！

QUALIFYING 予選

上位26名に入るように!



①「FREE RUN」と同じく、チーム、ドライバーを選び、LAP数を決めます。
コース紹介画面になります。



②マシンのセッティングを行います。
コースに合ったセッティングをしてください。

③いよいよ予選スタート/
コースを1周したあと、タイムアタックです。

④予選タイムが表示されます。
上位26位に入らなければ予選落ち/もう1度セッティングからやり直してください。
予選を通過するまで、何度もチャレンジしよう。
予選を通過すれば、いよいよ、決勝が待っている/

■第1戦からプレイする場合

NEW GAMEを選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンを押すとNAME入力画面になります。

■セーブデータがある場合

CONTINUEを選びⒷ(またはⓎ)ボタンを押すと、セーブ画面になります。続けたいデータを選びⒷ(またはⓎ)ボタンで決定します。(21ページ参照)

FINAL 決勝

チェッカーをめざして!



①決勝前に、もう1度、マシンセッティングを行います。



②スターティング・グリッドの紹介。そしていよいよ、決勝のスタートです。



③シグナルが青に変わったら、アクセルボタン(Ⓑボタン)を押してください。アクセルを吹かしたままではホイールスピンしてスタートが遅れます。



④レース中は、LCD(液晶パネル)や各種フラッグに注意して、その指示に従ってください(12・13ページ参照)。
車体消耗表示が画面左上に出るので、チェックしながら、走りましょう。

PIT IN ピットイン

ピットタイムもあなどれない

■ピットサインが出た場合、ピットインして車を直さなければなりませんが、タイミングが悪いと、ロスタイムが増えてしまいます。



■ピットでは、タイヤ交換とウィング交換があります。十字ボタンでどちらかを選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



RETIRE リタイア

もう走れない!

■壁や他の車に何度もぶつかっていると、車体は消耗、オーバーヒートしてリタイアになることがあります。

■また、タイムオーバーでリタイアすることもあります。



SAVE&CONTINUE セーブ、コンティニュー

WORLD GPでは、1戦ごとにセーブすることができます。ポイント表示画面のあと、セーブ画面で決定します。

SAVE

□CONTINUE　その1戦をセーブして、次のコースに行くとき。

□END　その1戦をセーブして、ゲームを終わるとき。



NO SAVE

□CONTINUE　その1戦をセーブせずに、もう1度同じコースを走るとき。

□END　その1戦をセーブせずに、ゲームを終わるとき。



※セーブしたところからレースを再開するときは、「WORLD GP」モードのCONTINUEを選びます。セーブ画面からデータを選び、そこからスタートできます。

OPTION オプション

タイトル画面で、オプションモードを選びます。十字ボタンで、それぞれを選んで、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



GAME LEVEL ゲームレベル

EASY、NORMAL、HARDの3種類があり、順番に難しくなります。

EFFECT MODE エフェクト・モード

エンジン音など、効果音のステレオ・モノラルが選べます。

BGM

ゲーム中に使用されているすべての音やメロディをひとつずつ聞くことができます。
01で、好きなBGM(バックグラウンドミュージック)を選んでください。

BEST LAP ベストラップ

各コースごとのベストラップを知りたいときは?

■タイトル画面で、ベストラップモードを選びます。十字ボタンの上下左右でコースを選んで、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。

■掲載されているデータは'91年カナダGP終了時までのものです。
■チーム、ドライバーは'91年ポルトガルGP時のものです。

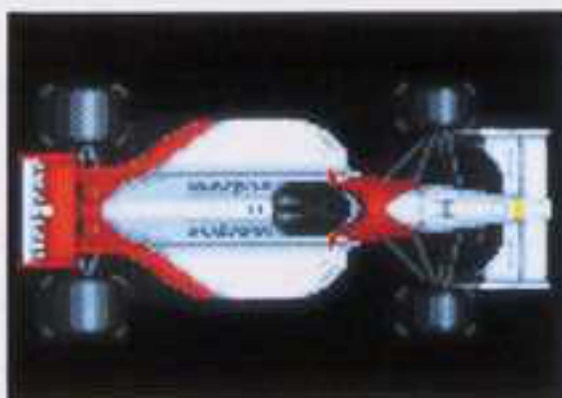
FASTEST BATTLE in the World

26台のマシンだけが覇を競う、世界最速の闘いに、
コンストラクターは、ベストチューニングマシンをオファーする。
ドライバーはもてるテクを出し切るべく、そのマシンを駆る。
メカニックたちはピットに身構える。
チームは、つねに極限の状態にある。
全18チーム34名のドライバーを紹介しよう。
君のフェバリットは、どこの、だれだ?



McLAREN マクラーレン

■本 拠 地／イギリス・ウォキング
■GPデビュー／'66年モナコGP
■出　走／351回
■優　勝／90回
■P.P.　／71回
■F.L.　／62回
■90年リザルト／コンストラクターズチャンピオン・121ポイント
■代 表 者／ロン・デニス
■シヤシー／マクラレーンMP4/6
■エンジン／ホンダV12/RA121E
■タ イ ヤ／グッドイヤー



Ayrton SENNA
アイルトン・セナ(ブラジル)

'60年3月21日生 B型
174cm・72kg
GPデビュー／'84年ブラジルGP(トールマン・リタイア)、出走／115回、優勝／30回、P.P／56回、F.L.／15回、'90年リザルト／シリーズ・チャンピオン、好きなコース／エストリル、シルバーストン、鈴鹿



Gerhard BERGER
ゲルハルト・ベルガー(オーストリア)

'59年8月27日生 O型
185cm・75kg
GPデビュー／'84年オーストリアGP(ATS・12位)、出走／104回、優勝／5回、P.P／6回、F.L.／14回、'90年リザルト／シリーズ4位・43ポイント　好きなコース／鈴鹿





'66年にオリジナルマシンでF-1に参戦したブルース・マクラーレンによって設立。'80年、マールボロ・スポンサードでF2を戦うロン・デニスのプロジェクト4と合体し、現在の隆盛のもとを築く。'84年、新採用のTAGポルシェ・ターボを積んだMP4/2は、16戦中12勝という圧倒的勝利を収める。'85年、'86年とプロストが連続チャンピオン、'88年セナとともにホンダ・ターボを導入したMP4/4は、16戦15勝と空前の勝率。以降3年連続でコンストラクターズチャンピオンとなるなど、つねに記録に挑戦しつづけるマクラーレンだ。

※PPはポールポジション　FLはファステストラップ

WILLIAMS ウィリアムズ

■本 拠 地／イギリス・ディドコット
■GPデビュー／'72年イギリスGP
■出　走／270回
■優　勝／44回
■P.P.　／32回
■F.L.　／48回
■90年リザルト／第4位・57ポイント
■代 表 者／フランク・ウィリアムズ
■シヤシー／ウィリアムズFW14
■エンジン／ルノーV10/SR3
■タ イ ヤ／グッドイヤー



Nigel MANSELL
ナイジェル・マンセル(イギリス)

'53年8月8日生 O型
180cm・80kg
GPデビュー／'80年オーストリアGP(ロータス・リタイア)、出走／154回、優勝／16回、P.P／15回、F.L.／18回、'90年リザルト／シリーズ5位・37ポイント、好きなコース／ブランズハッチ



Riccardo PATRESE
リカルド・パトレーゼ(イタリア)

'54年4月17日生 A型
173cm・79kg
GPデビュー／'77年モナコGP(シャドウ・9位)、出走／213回、優勝／3回、P.P／4回、F.L.／8回、'90年リザルト／シリーズ7位・23ポイント、好きなコース／モナコ

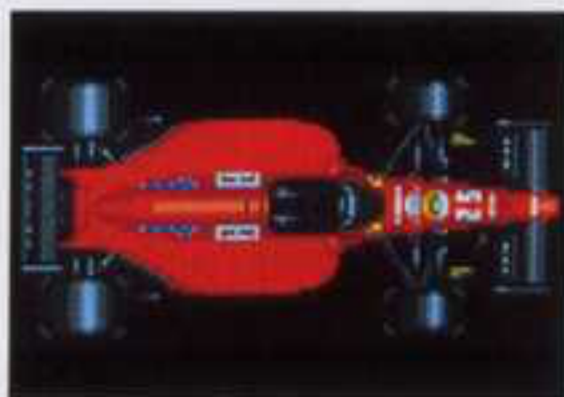




'72年オリジナルマシンFX3で参入したが、成績は芳しくなく、'76年、現在のテクニカルディレクターであるパトリック・ヘッドが加入し、いまの礎を築く。'79ウィングカーFW07でイギリスGPに初優勝を果たし、シリーズ2位にランク。'80年は6勝をあげ、コンストラクターとドライバー(レガッツォーニ)の両タイトル、'81年コンストラクター、'82年ドライバー(ロズベルグ)のタイトルを獲得。'86年、'87年とコンストラクターズ・チャンピオン、'87年はドライバー(ピケ)タイトルと黄金時代。'89年にルノーエンジンを獲得して以来、フランク・ウィリアムズによって、バランスの良いチームを維持している。

FERRARI フェラーリ

■本拠地／イタリア・モデナ
■GPデビュー／'50年モナコGP
■出　走／477回
■優　勝／103回
■P.P.　／110回
■F.L.　／118回
■'90年リザルト／2位・110ポイント
■代表者／ピエロ・フサロ
■シャシー／フェラーリ643
■エンジン／フェラーリV12/291
■タイヤ／グッドイヤー



Alain PROST
アラン・プロスト(フランス)

'55年2月24日生 AB型
165cm・63kg
GPデビュー／'80年アルゼンチンGP(マクラーレン・6位)、出走／173回、優勝／44回、P.P.／20回、F.L.／35回、'90年リザルト／シリーズ2位・73ポイント、好きなコース／勝ったコース



Jean ALESI
ジャン・アレジー(フランス)

'64年6月11日生 A型
173cm・72kg
GPデビュー／'89年フランスGP(ティレル・4位)、出走／28回、最高位／2位、P.P.／なし、F.L.／1回、'90年リザルト／シリーズ9位・13ポイント、好きなコース／鈴鹿、モンツァ





F-1の歴史とともに歩むフェラーリ。'50年グランプリの第2戦から参戦し、'51年イギリスGPで初優勝。'52年、'53年、敗退は1戦のみと驚異的。'58年はホーソーンがディノ256でドライバーズ・タイトル。'64年、デザイナー、マウロ・フォルギエリ設計の158で、ジョン・サーティースがチャンピオン。'60年代後半から低迷がつづくが、'74年ニキ・ラウダが加入、'75年から3年間、312Tでコンストラクターズ・チャンピオン。'82年コンストラクターズ・チャンピオン。革新的なF189を投入して以来つねにトップレベルの地位にある。エンツォ・フェラーリ亡き後は、チーム体制に混乱が生じている。

ベネトン BENETTON

■本拠地／イギリス・ウィトニー
■GPデビュー／'81年イタリアGP
■出　走／142回
■優　勝／5回
■P.P.　／3回
■F.L.　／8回
■'90年リザルト／3位・71ポイント
■代表者／ルチアーノ・ベネトン
■シャシー／ベネトンB191
■エンジン／フォードV8/HB
■タイヤ／ピレリ



Nelson PIQUET
ネルソン・ピケ(ブラジル)

'52年8月17日生 O型
170m・73kg
GPデビュー／'78年ドイツGP(エンサイン・リタイア)、出走／193回、優勝／23回、P.P.／24回、F.L.／23回、'90年リザルト／シリーズ3位・44ポイント、好きなコース／鈴鹿



Michael SCHUMACHER
ミハエル・シュマッハー(ドイツ)

'69年1月3日生
GPデビュー／'91年初エントリー、'90年リザルト／ドイツF3チャンピオン





テッド・トルーマン率いるトルーマン・グループ・モータースポーツがF-2からF-1にステップアップして参入したのが'81年。'84年にはイギリスF-3チャンピオン、セナが加入。'86年、チームオーナーがルチアーノ・ベネトンに変わり、チーム名も変更して現在にいたる。'87年フォードV6ターボ、'88年フォードDFR、'89年ニューシャシーB189Tで、ナニーニが日本GP初優勝。'90年、デザイナーにジョン・バーナード、また、ドライバーにピケが加入、日本・オーストラリアで連勝。現在、バーナードがチームを離れトム・ウォーキンショウ率いるTWRと提携している。

Satoru NAKAJIMA
中嶋 悟(日本)



'53年2月23日生 B型
165cm・60kg
GPデビュー/'87年ブラジルGP(ロータス・7位)、出走/63回、最高位/4位、P.P./なし、F.L./1回、'90年リザルト/シリーズ15位・3ポイント、好きなコース/とくになし

Stefano MODENA
ステファノ・モデナ(イタリア)



'63年5月12日生 O型
173cm・70kg
GPデビュー/'87年オーストラリアGP(ブラバム・リタイア)、出走/47回、最高位/2位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/シリーズ16位・2ポイント、好きなコース/とくになし

■本 拠 地/イギリス・ウォキング
■GPデビュー/'70年カナダGP
■出　　走/293回
■優　　勝/23回
■P.P.　/14回
■F.L.　/23回
■90年リザルト/5位・16ポイント
■代 表 者/ケン・ティレル
■シャシー/ティレル020
■エンジン/ホンダV10/RA101E
■タ イ ヤ/ピレリ



TYRRELL ティレル

BRABHAM ブラバム

■本 拠 地/イギリス・チェシントン
■GPデビュー/'62年ドイツGP
■出　　走/380回
■優　　勝/35回
■P.P.　/39回
■F.L.　/41回
■90年リザルト/8位タイ・2ポイント
■代 表 者/中内康児
■シャシー/ブラバムBT60Y
■エンジン/ヤマハV12/OX99
■タ イ ヤ/ピレリ



Martin BRUNDLE
マーティン・ブランドル(イギリス)

'59年6月1日生 A型
172cm・71kg
GPデビュー/'84年ブラジルGP(ティレル・成績抹消)、出走/72回、最高位/4位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/WSPCシリーズ8位、好きなコース/鈴鹿



Mark BLUNDELL
マーク・ブランデル(イギリス)

'66年4月8日生
174m・77kg
GPデビュー/'91年アメリカGP(ブラバム・リタイア)、出走/4回、最高位/8位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/WSPCシリーズ10位、好きなコース/全部



Michele ALBORETO
ミケーレ・アルボレート(イタリア)

'56年12月23日生 A型
173m・76kg
GPデビュー/'81年サンマリノGP(ティレル・リタイア)、出走/146回、最高位/5位、P.P./2回、F.L./4回、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/モンツァ、シルバーストン

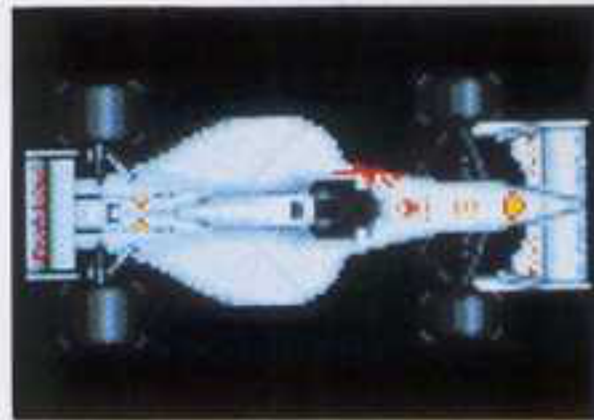


Alex CAFFI
アレックス・カフィ(イタリア)

'64年3月18日生 A型
165m・65kg
GPデビュー/'86年イタリアGP(オゼッラ・ラップ数不足)、出走/54回、最高位/4位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/シリーズ16位・2ポイント、好きなコース/モナコ



■本 拠 地/イギリス・ミルトンケインズ
■GPデビュー/'78年ブラジルGP
■出　　走/200回
■優　　勝/なし
■P.P.　/1回
■F.L.　/なし
■90年リザルト/8位タイ・2ポイント
■代 表 者/大橋渡
■シャシー/フットワークFA12
■エンジン/ポルシェV12
■タ イ ヤ/グッドイヤー



フットワーク FOOTWORK

ロータス LOTUS

■本 拠 地/イギリス・ノーフォーク
■GPデビュー/'58年モナコGP
■出　　走/431回
■優　　勝/79回
■P.P.　/107回
■F.L.　/70回
■90年リザルト/7位・3ポイント
■代 表 者/ホルスト・シューベル
■シャシー/ロータス102B
■エンジン/ジャッドV8/EV
■タ イ ヤ/グッドイヤー



Mika HAKKINEN
ミカ・ハッキネン(フィンランド)

'68年9月28日生
180m・68kg
GPデビュー/'91年アメリカGP(ロータス・リタイア)、出走/5回、最高位/5位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/イギリスF3チャンピオン、好きなコース/マカオ



Johnny HERBERT
ジョニー・ハーバート(イギリス)

'64年6月25日生 O型
165m・66kg
GPデビュー/'89年ブラジルGP(ベネトン・4位)、出走/8回、最高位/4位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/ブランズハッチ



FONDMETAL フォンドメタル

Olivier GROUILLARD
オリビエ・グルイヤール(フランス)

'58年9月2日生 O型
172m・72kg
GPデビュー/'89年ブラジルGP(リジェ・9位)、出走/21回、最高位/6位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/スパ=フランコルシャン



■本拠地/イタリア・トリノ
■GPデビュー/'80年南アフリカGP
■出　走/132回
■優　勝/なし
■P.P.　/なし
■F.L.　/なし
■90年リザルト/0ポイント
■代表者/ガブリエレ・ルミ
■シャシー/フォメット1-91
■エンジン/コスワースV8/DFR
■タイヤ/グッドイヤー



LEYTON HOUSE レイトンハウス

■本拠地/イギリス・ビスター
■GPデビュー/'70南アフリカGP
■出　走/203回
■優　勝/3回
■P.P.　/5回
■F.L.　/7回
■90年リザルト/6位・7ポイント
■代表者/赤城明
■シャシー/レイトンハウスCG911
■エンジン/イルモアV10/LH10
■タイヤ/グッドイヤー



Mauricio GUGELMIN
マウリシオ・グージェルミン(ブラジル)

'63年4月20日生 A型
177m・78kg
GPデビュー/'88年ブラジルGP(マーチ・リタイア)、出走/48回、最高位/3位、P.P./なし、F.L./1回、'90年リザルト/シリーズ18位・1ポイント、好きなコース/高速コース



Ivan CAPELLI
イヴァン・カペリ(イタリア)

'63年5月24日生 O型
174m・71kg
GPデビュー/'85年ヨーロッパGP(ティレル・リタイア)、出走/69回、最高位/2位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/シリーズ10位・6ポイント、好きなコース/エステルライヒリンク



AGS エージーエス

Gabriele TARQUINI
ガブリエーレ・タルクィーニ(イタリア)

'62年3月2日生 B型
177m・72kg
GPデビュー/'87年サンマリノGP(オゼッラ・リタイア)、出走/22回、最高位/6位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/スパ=フランコルシャン

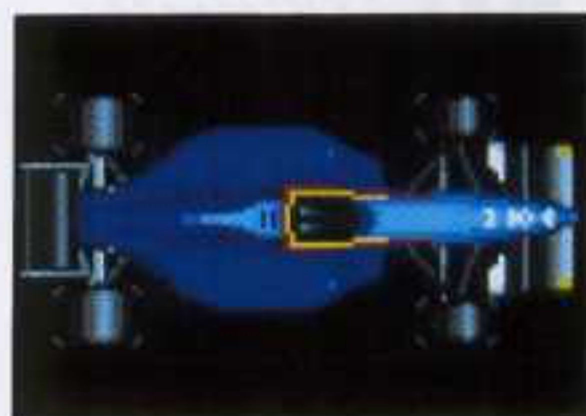


Fabrizio BARBAZZA
ファブリツィオ・バルバッツァ(イタリア)

'63年4月2日生 B型
171m・68kg
GPデビュー/'91年初エントリー、出走、最高位P.P.、F.L./なし、好きなコース/鈴鹿



■本拠地/フランス・ゴンファロン
■GPデビュー/'86年ブラジルGP
■出　走/48回
■優　勝/なし
■P.P.　/なし
■F.L.　/なし
■90年リザルト/0ポイント
■代表者/パトリシオ・カントゥー
■シャシー/エージーエスJH25
■エンジン/コスワースV8/DFR
■タイヤ/グッドイヤー



DALLARA ダラーラ(スクーデリア・イタリア)

■本拠地/イタリア・ブレシア
■GPデビュー/'88年ブラジルGP
■出　走/51回
■優　勝/なし
■P.P.　/なし
■F.L.　/なし
■90年リザルト/0ポイント
■代表者/ビットリオ・パラツァーニ
■シャシー/ビーエムエス・ダラーラF191
■エンジン/ジャッドV10/GV
■タイヤ/ピレリ



Emanuelle PIRRO
エマニュエーレ・ピロ(イタリア)

'62年1月12日生 O型
182m・72kg
GPデビュー/'89年フランスGP(ベネトン・9位)、出走/28回、最高位/5位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/鈴鹿



JJ LEHTO
ジェイジェイ・レート(フィンランド)

'66年1月31日生 A型
179m・69kg
GPデビュー/'89年スペインGP(オニックス・リタイア)、出走/11回、最高位/3位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/とくになし



Pierluigi MARTINI
ピエルルイジ・マルティニ（イタリア）

'61年4月23日生 B型
165m・68kg
GPデビュー／'85年ブラジルGP（ミナルディ・リタイア）、出走／59回、最高位／4位、P.P.／なし、F.L.／なし、'90年リザルト／0ポイント、好きなコース／イモラ



Gianni MORBIDELLI
ジャンニ・モルビデリ（イタリア）

'68年1月13日生 O型
168m・65kg
GPデビュー／'90年ブラジルGP（ダラーラ・14位）、出走／8回、最高位／8位、P.P.／なし、F.L.／なし、'90年リザルト／0ポイント、好きなコース／ムジェッロ



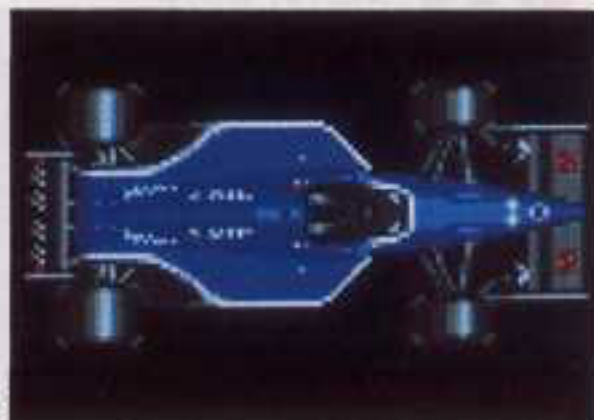
■本 拠 地／イタリア・ファエンツァ
■GPデビュー／'85年ブラジルGP
■出　　走／97回
■優　　勝／なし
■P.P.　／なし
■F.L.　／なし
■90年リザルト／0ポイント
■代 表 者／ジャンカルロ・ミナルディ
■シャシー／ミナルディM191
■エンジン／フェラーリV12/M3
■タ イ ヤ／グッドイヤー



MINARDI ミナルディ

LIGIER リジェ

■本 拠 地／フランス・マニクール
■GPデビュー／'76年ブラジルGP
■出　　走／234回
■優　　勝／8回
■P.P.　／9回
■F.L.　／11回
■90年リザルト／0ポイント
■代 表 者／ギ・リジェ
■シャシー／リジェJS35
■エンジン／ランボルギーニV12／3512EVO3
■タ イ ヤ／グッドイヤー



Thierry BOUTSEN
ティエリー・ブーツェン（ベルギー）

'57年7月13日生 O型
183m・75kg
GPデビュー／'83年ベルギーGP（アロウズ・リタイア）、出走／126回、優勝／3回、P.P.／1回、F.L.／1回、'90年リザルト／シリーズ6位・34ポイント、好きなコース／スパ=フランコルシャン、鈴鹿



Erik COMAS
エリック・コマス（フランス）

'63年9月28日生 O型
176m・72kg
GPデビュー／'91年ブラジルGP（リジエ・リタイア）、出走／4回、最高位／8位、P.P.／なし、F.L.／なし、'90年リザルト／国際F3000シリーズチャンピオン、好きなコース／スパ=フランコルシャン



Eric BERNARD
エリック・ベルナール（フランス）

'64年8月26日生 O型
174cm・71kg
GPデビュー／'89年フランスGP（ローラ・11位）、出走／23回、最高位／4位、P.P.／なし、F.L.／なし、'90年リザルト／シリーズ13位・5ポイント、好きなコース／ヘレス



Aguri SUZUKI
鈴木 亜久里（日本）

'60年9月8日生 A型
180cm・68kg
GPデビュー／'88年日本GP（ローラ・16位）、出走／21回、最高位／3位、P.P.／なし、F.L.／なし、'90年リザルト／シリーズ12位・6ポイント、好きなコース／鈴鹿



■本 拠 地／フランス・イシーレムリノー
■GPデビュー／'62年オランダGP
■出　　走／115回
■優　　勝／なし
■P.P.　／1回
■F.L.　／なし
■90年リザルト／レギュレーション違反でポイント6抹消
■代 表 者／ジェラール・ラルース
■シャシー／ラルース・ローラLC91
■エンジン／コスワースV8/DFR
■タ イ ヤ／グッドイヤー



ラルース LARROUSSE

コローニ COLONI

■本 拠 地／イタリア・ペルージア
■GPデビュー／'87年スペインGP
■出　　走／13回
■優　　勝／なし
■P.P.　／なし
■F.L.　／なし
■90年リザルト／全戦予備予選・予選不通過
■代 表 者／エンツォ・コローニ
■シャシー／コローニC4
■エンジン／コスワースV8/DFR
■タ イ ヤ／グッドイヤー



Pedro Matos CHAVES
ペドロ・マトス・チャベス（ポルトガル）

'65年2月27日生 A型
162cm・66kg
GPデビュー／'91年初エントリー、出走、優勝P.P.、F.L.／なし、'90年リザルト／イギリスF3000シリーズチャンピオン、好きなコース／ドニントン



Andrea De CESARIS
アンドレア・デ・チェザリス(イタリア)

'59年5月31日生 A型
172cm・74kg
GPデビュー/'80年カナダ(アルファロメオ・リタイア)、出走/154回、最高位/2位、P.P./1回、F.L./1回、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/スパ=フランコルシャン

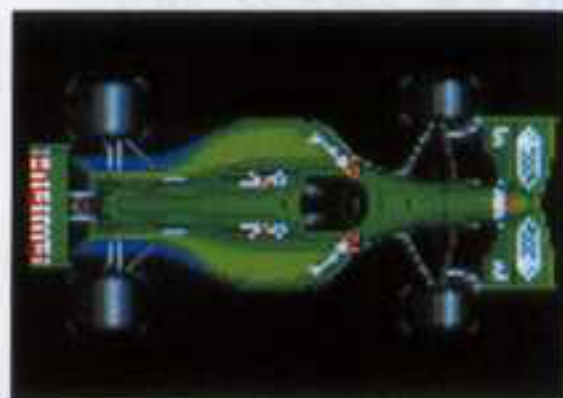


Roberto MORENO
ロベルト・モレノ(ブラジル)

'59年2月11日生 A型
168m・58kg
GPデビュー/'87年日本GP(エージーエス・リタイア)、出走/15回、最高位/2位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/シリーズ10位・6ポイント、好きなコース/鈴鹿



■本拠地/イギリス・シルバーストン
■GPデビュー/'91年アメリカGP
■出走/5回
■優勝/なし
■P.P./なし
■F.L./なし
■代表者/エディ・ジョーダン
■シャシー/ジョーダン191
■エンジン/フォードV8/HB
■タイヤ/グッドイヤー



JORDAN ジョーダン

MODENA モデナ

■本拠地/イタリア・モデナ
■GPデビュー/'91年アメリカGP
■出走/2回
■優勝/なし
■P.P./なし
■F.L./なし
■代表者/カルロ・パトルッコ
■シャシー/ランボ291
■エンジン/ランボルギーニV12/3512EVO3
■タイヤ/グッドイヤー



Nicola LARINI
ニコラ・ラリーニ(イタリア)

'64年3月19日生 A型
170cm・67kg
GPデビュー/'87年スペインGP(コローニ・リタイア)、出走/36回、最高位/7位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/0ポイント、好きなコース/モンツァ、イモラ、ヘレス



Eric Van De POELE
エリック・バン・デ・ポール(ベルギー)

'61年9月30日生 B型
178cm・69kg
GPデビュー/'91年サンマリノGP(モデナ・9位)、出走/1回、最高位/9位、P.P./なし、F.L./なし、'90年リザルト/国際F3000シリーズ2位、好きなコース/スパ=フランコルシャン



■掲載されているデータは'91年カナダGP終了時までのものです。

F-1 GP CIRCUITS around the World

サーキットこそはF-1 GPオーバーヒートバトルの舞台だ。
全16戦(ラウンド)が戦われる世界(サーキット)を紹介しよう。
各サーキットは全長がまちまちだが、
レギュレーション(規則)によって、
GPの走行距離は305km以上と決められている。
ただし、市街地コースのアメリカ・フェニックス(301.32km)と
モナコ(259.58km)は例外だ。
また時間は2時間を超えた時点で終了。
さあ、ジャンプintoザ・F-1 GrandPrixサーキット!

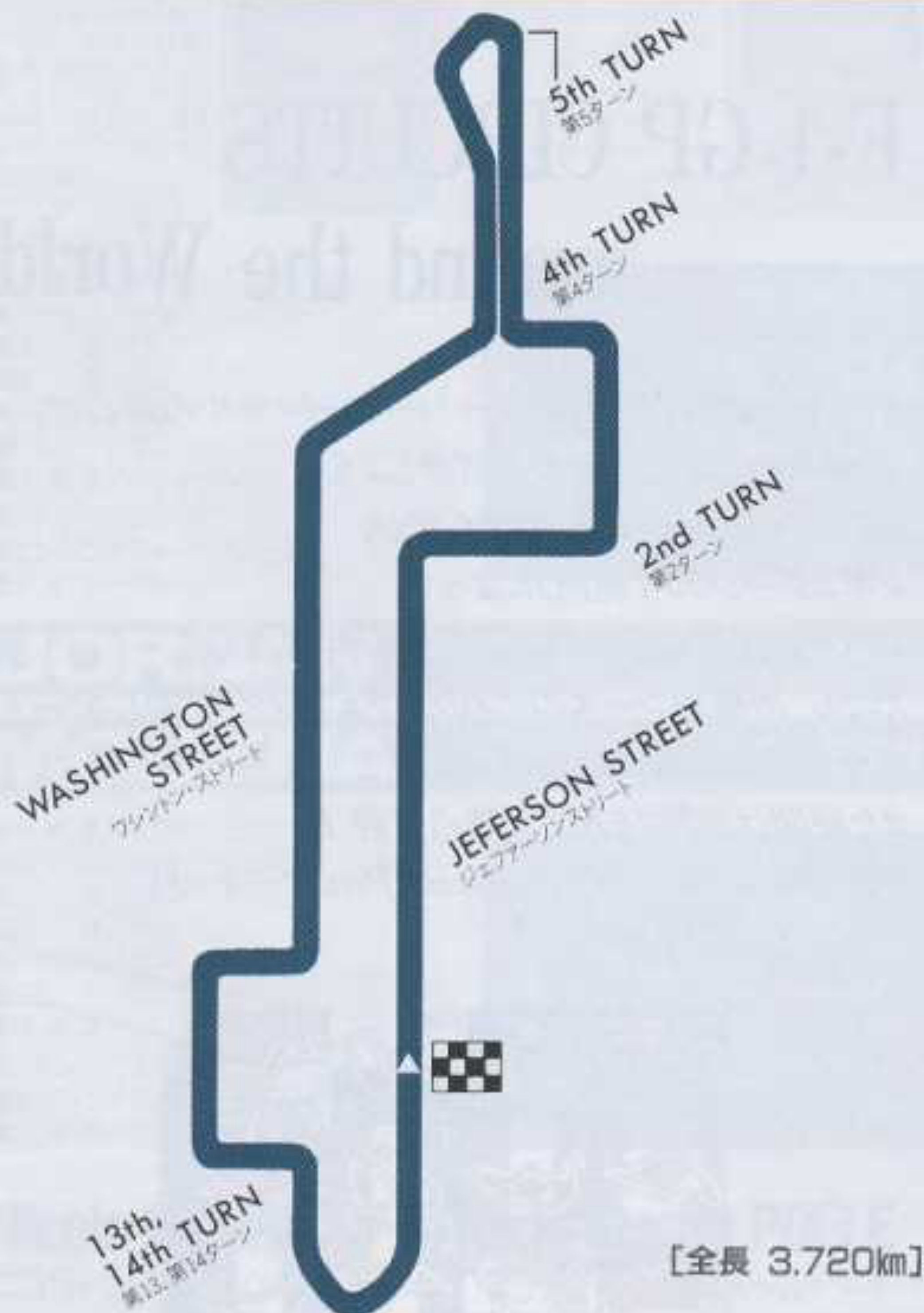


ROUND 1

U.S.A.GP

アメリカグランプリ





[全長 3.720km]

フェニックス・グランプリ・サーキット

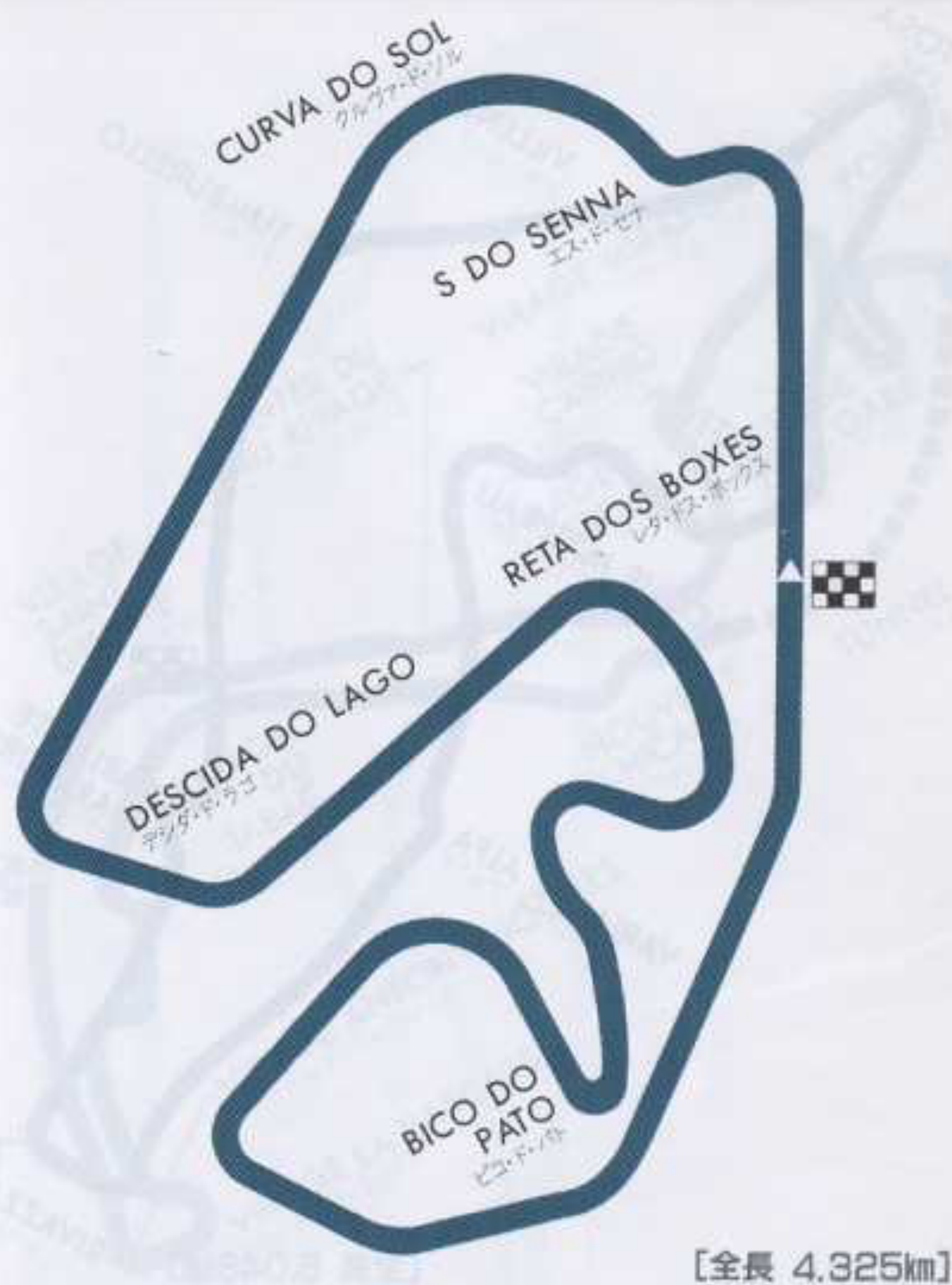
砂漠の人口都市フェニックスの市街地に、コンクリートと金網で区切ったストリートがコースだ。アメリカコースの特徴である直角コーナーに加え、ヘアピンカーブも設けられた。さまざまなコース幅とスリップしやすい路面は、ベストラインが1本で追い越しがなかなか困難だ。そして、公道コースによる接触も多く、一瞬の判断ミスが、リタイアを招くおそれもある。

ROUND 2

BRAZIL GP

ブラジルグランプリ





[全長 4.325km]

アウトドローモ・ホセ・カルロス・パーチェ(インテルラゴス)

セナのふるさとサンパウロ郊外、標高800メートルの高地にあり、コース中心部が低いため、起伏に富んでいる。滑りやすいインフィールドのコーナー、バンピーな長い直線で構成されており、マシンセッティング能力が勝負の鍵だ。ブレーキング、ウイングなどに気をつけよう。

ROUND 3

SAN MARINO GP

サンマリノグランプリ





[全長 5.048km]

アウトドローモ・エンツォ・エ・ディノ・フェラーリ（イモラ）

名前のとおり、"フェラーリ"の本拠地。ヨーロッパ最初のラウンドで、各チームのチューンナップされたニューカーがそろい、実質的な開幕戦だ。有名なコーナー"トサ"をはじめあらゆるタイプのコーナーと高速ストレートから構成される"グランプリ・スタンダード・サーキット"。マシンの総合性能チェックに最適。また、ドライバーのテクニックも要求されるのだ。

ROUND 4

MONACO GP

モナコグランプリ





[全長 3.328km]

サーキット・デ・モナコ

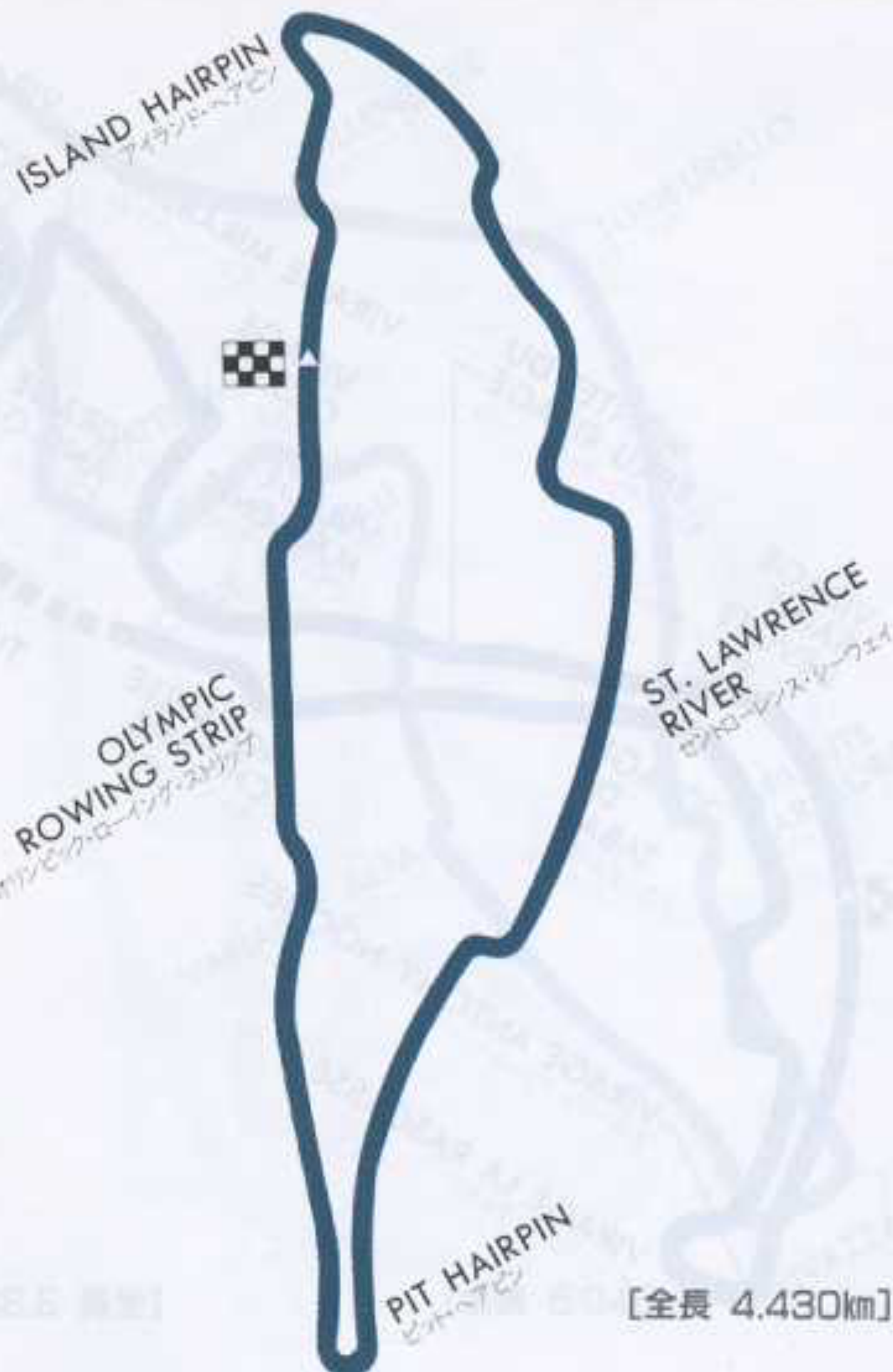
世界有数のリゾート地・モナコの公道につくられたコースだ。狭く曲がりくねったコースは、高低差も大きな低速コースである。3秒に1回、全コースでは約2500回のシフトチェンジが必要といわれる。そのため、マシンはギア系統の耐久性が、またドライバーには過度のコンセントレーションが要求される。海に臨む美しさ、トンネルなど、伝統と権威にあふれるコースだ。

ROUND 5

CANADA GP

カナダグランプリ





[全長 4.430km]

サーキット・ジル・ビルニューブ

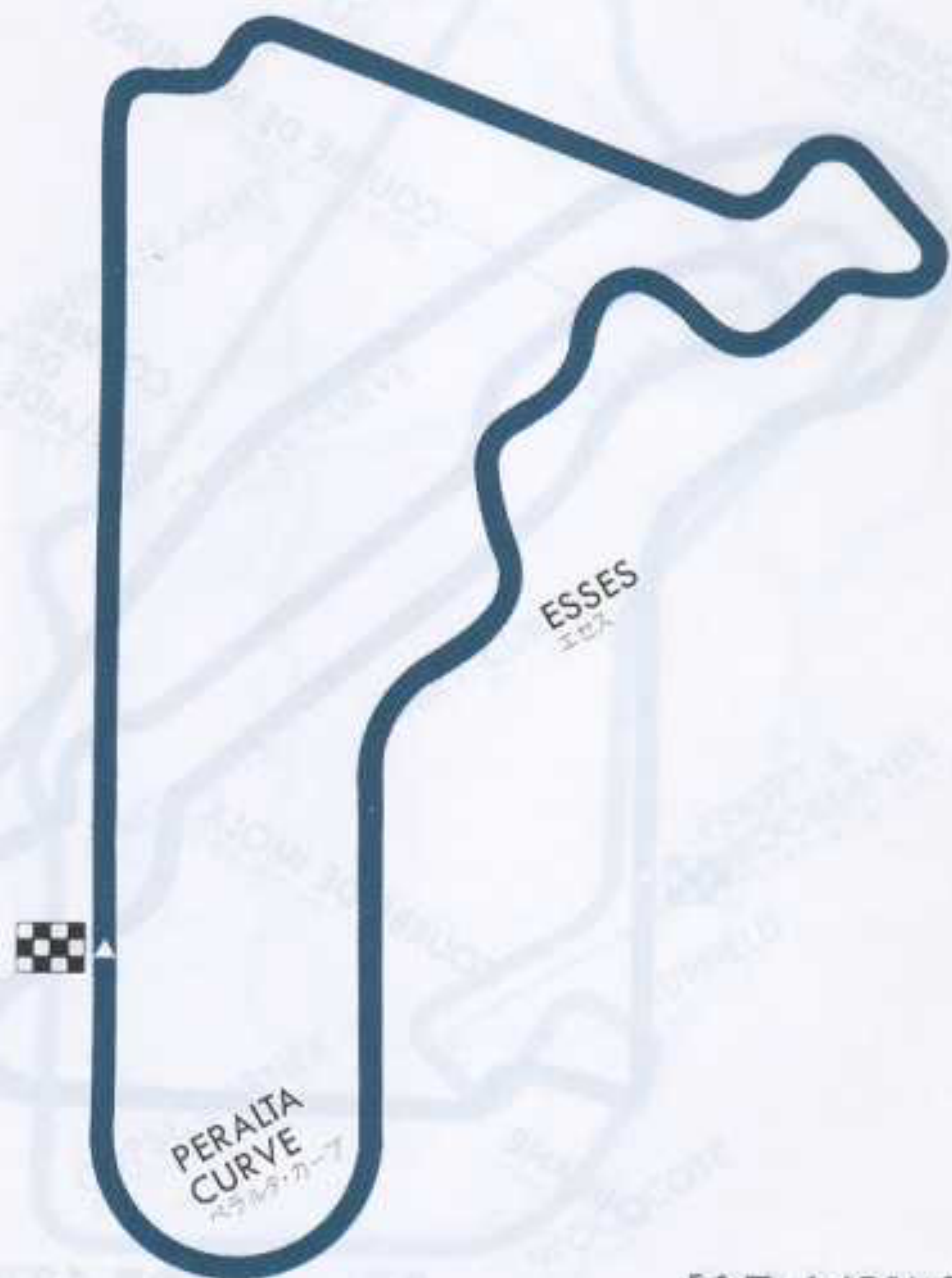
モントリオールの中心、万博跡地の周遊道路につくられた、フラットな中高速コースだ。バンピーな路面は不安定なブレーキングを呼び、また、公園の土砂が路面に入り、滑りやすい。季節的にも気候が不順で、雨を意識したレース展開、燃費との戦いなど、意外なチームが活躍できる可能性がある。

ROUND 6

MEXICO GP

メキシコグランプリ





[全長 4.421km]

アウトドローモ・エルマノス・ロドリゲス

標高2240メートルという高地だけに、空気が薄いため、ウイング効率が低下する。そのセッティングとコーナリングが勝負の決め手となる。ストレートが3本（1000メートル、500メートル、450メートル）と複合コーナーだが、路面はバンピーで滑りやすいため、タイヤセッテングが重要だ。

ROUND 7

FRANCE GP



フランスグランプリ



[全長 4.272km]

サーキット・デ・ヌーベル・マニ・クール

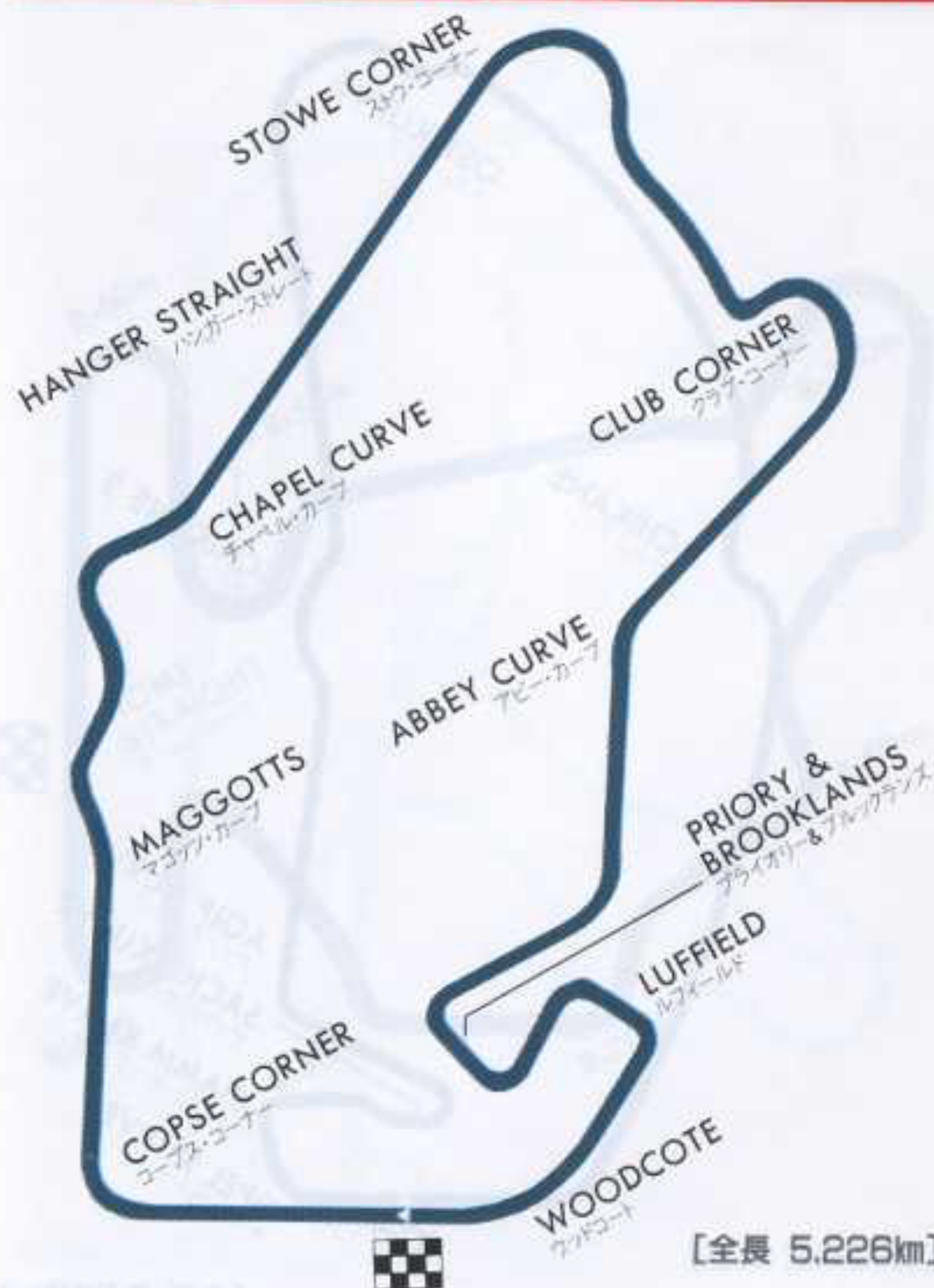
シリーズの勝負どころが始まるといわれるフランスＧＰ。'91年までのポールリカールに代わって、マニ・クールで開かれる。高速コーナーをはじめとして、複合コーナー、ヘアピンなど、バリエーション豊かなコーナーと、ストレートで構成される高速コースだ。各チーム・ドライバーとも、チェックポイントもはっきりしてきて、闘いはこれからだ。リジェの本拠地。

ROUND 8

GREAT BRITAIN GP



イギリスグランプリ



[全長 5.226km]

シルバーストン・サーキット

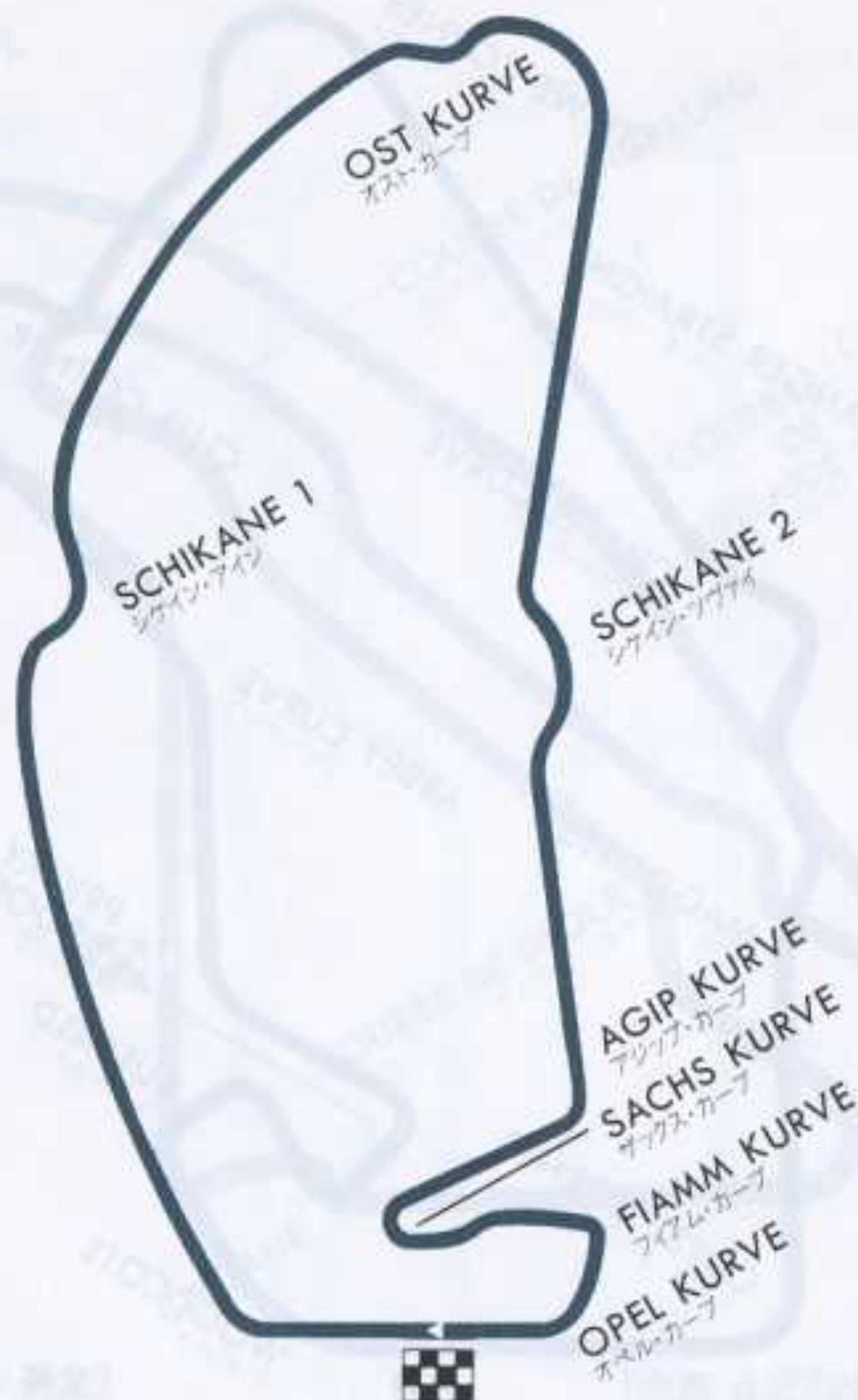
10のコーナーを18に増やし、平均速度を落す改修が施された新コースである。超高速コースから、高速テクニカルコースへと変化したものの、スムーズな路面、広いグリーンなど、モータースポーツ発祥の地イギリスの、素晴らしい環境は代わっていない。各コーナーでのハイレベルの戦いは、まさに圧巻である。イギリス系チームの拠点は、ほとんど、シルバーストーンの半径50キロにある。

ROUND 9

GERMANY GP

ドイツグランプリ





[全長 6.802㎞]

ホッケンハイム・リンク

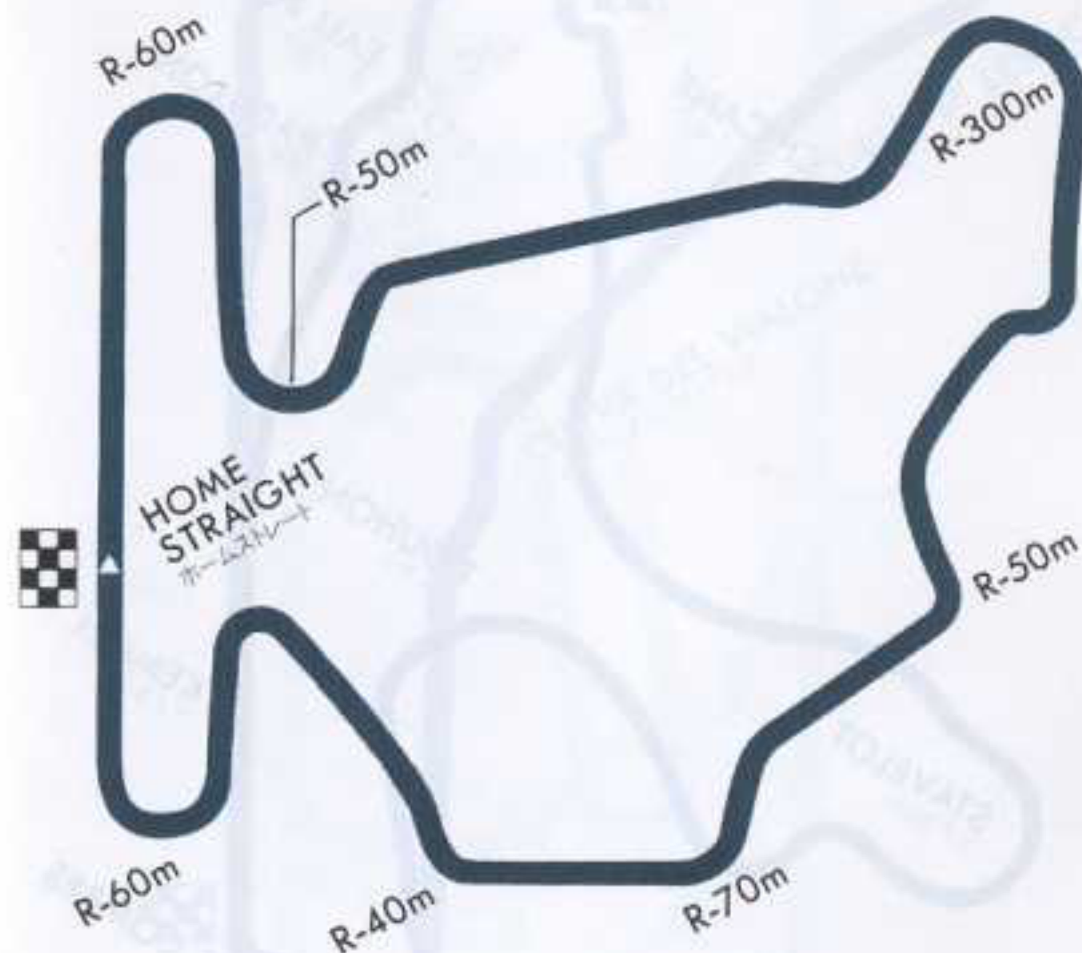
森に囲まれた高速コース。2本のロングストレートと、3つのシケインが微妙に組み合わされており、空力セッテングがポイントとなる。また、最高速度が300キロを超えるため、エンジンの耐久性も重要なファクターとなる。ドイツGPから後半戦に入り、ポイント争いも熾烈を極めるGPだ。

ROUND 10

HUNGARY GP

ハンガリーグランプリ





[全長 3.968㎞]

ハンガロリンク

タイトなコーナーが連続する。それも右がわ左がわとコーナーだらけ。そしてストレートの最長は700メートルという超低速コースである。追越しは第1コーナーだけで、ポールを獲りたいところだ。滑りやすい路面に対応した、タイヤとサスペンションのセッテング、ブレーキと加速のテクが勝敗を分ける。

ROUND 11

BELGIUM GP



ベルギーグランプリ



[全長 6.940km]

サーキット・デ・スパ-フランコルシャン

アルデンヌ高原の森林に開かれた、ワインディングロードのGP、峠のグランプリだ。公道とクローズドサーキットで構成されている。有名な「オールージュ(赤い水)」は、上下左右前後からのGがドライバーにおそいかかるハードなコーナーだ。「スパ・ウェザー」と呼ばれる急変する気候もレースに大きく関わる。ポイント争いも大詰めを迎えようとしている。

ROUND 12

ITALY GP



イタリアグランプリ



[全長 5.800km]

アウトドローモ・ナツィオナーレ・ディ・モンツァ

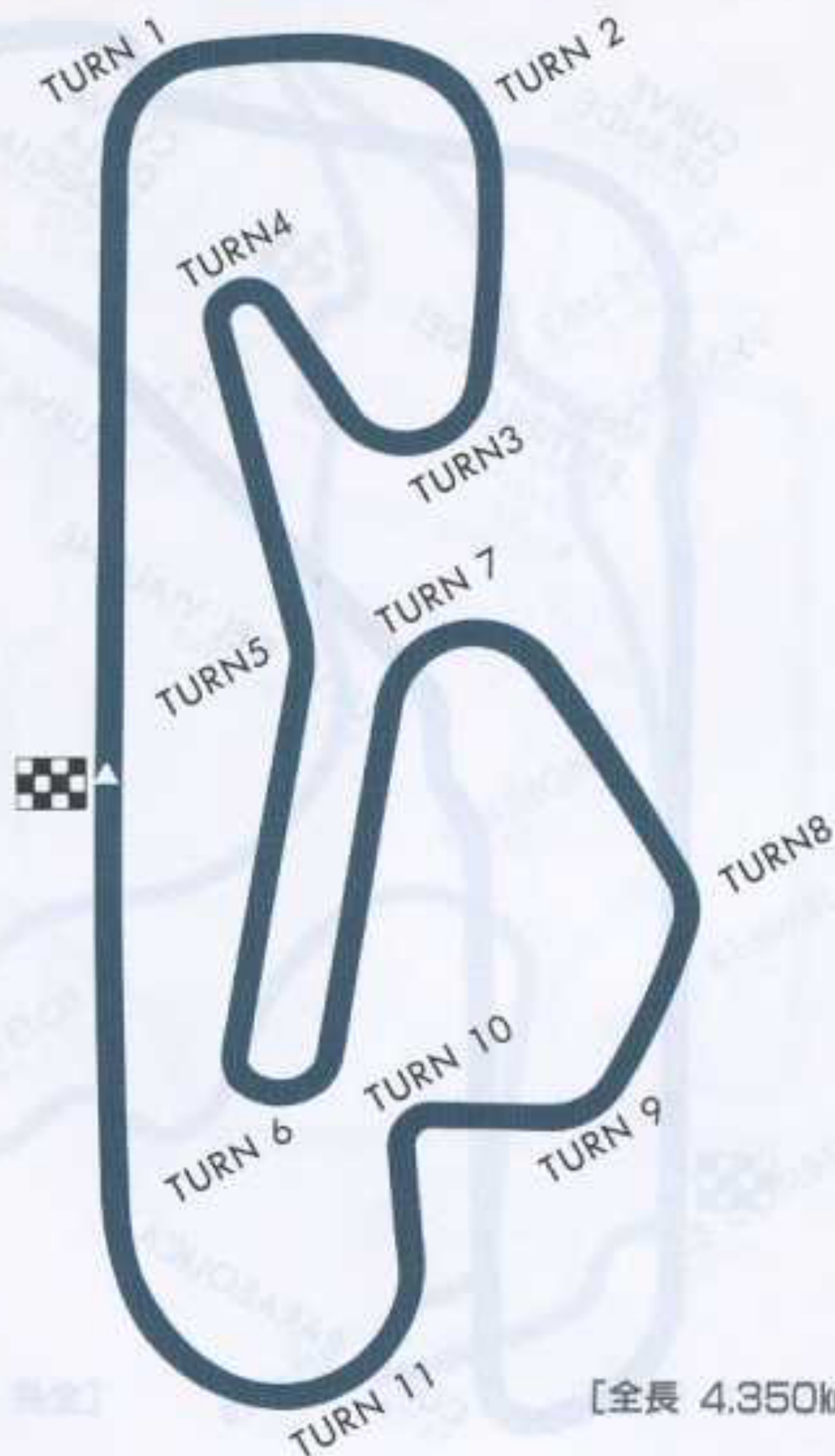
GPのパーマネントコースの中では最も古いのがモンツァだ。ストレートに高速コーナー、そして3つのシケインというシンプルなレイアウトで最高速は340キロは出る。展開ポイントは、シケインと最高速からの減速で、正確なブレーキングだ。また、タイヤのチョイスと交換の有無・タイミングもキーだ。

ROUND 13

PORTUGAL GP



ポルトガルグランプリ



[全長 4.350km]

アウトドローモ・ド・エストリル

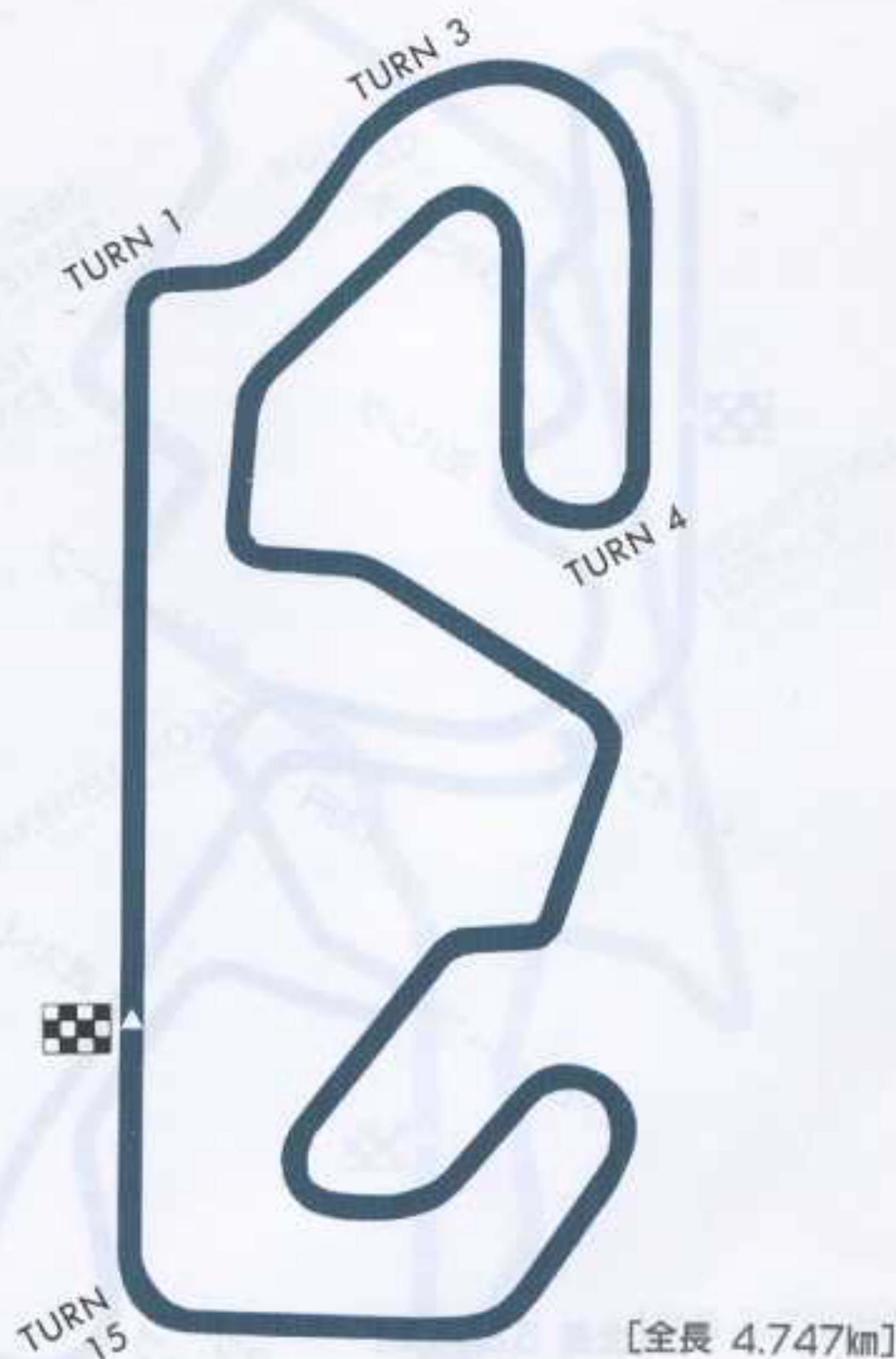
11のコーナーのうち右が8つ、そして1キロのストレートの、中速コースだ。路面はバンピータでタイヤにシビアであり、タイヤチェンジなどの「タイヤウォーズ」がレースの決め手。このコースは各チームともテストを繰返し、データが十分に揃っている。また、マシンも煮詰められている。さらに、チャンピオンシップも、ドライバー、コンストラクターとも大詰めだ。エキサイテングなレースが毎年繰り広げられる。

ROUND 14

SPAIN GP



スペイングランプリ



[全長 4.747km]

サーキット・デ・カタロニア

バルセロナにあるサーキットだ。15のコーナーは右が9、左が6、そしてメインストレート1047メートル。高速とテクニカルがはっきりと分かれているが、オーバーテイク(追越し)ポイントも多くスリリングなコースだ。タイトル争いにからんだチームは全力で闘いに挑む。

ROUND 15

JAPAN GP

日本グランプリ





[全長 5.864km]

スズカ・インターナショナル・レーシング・コース

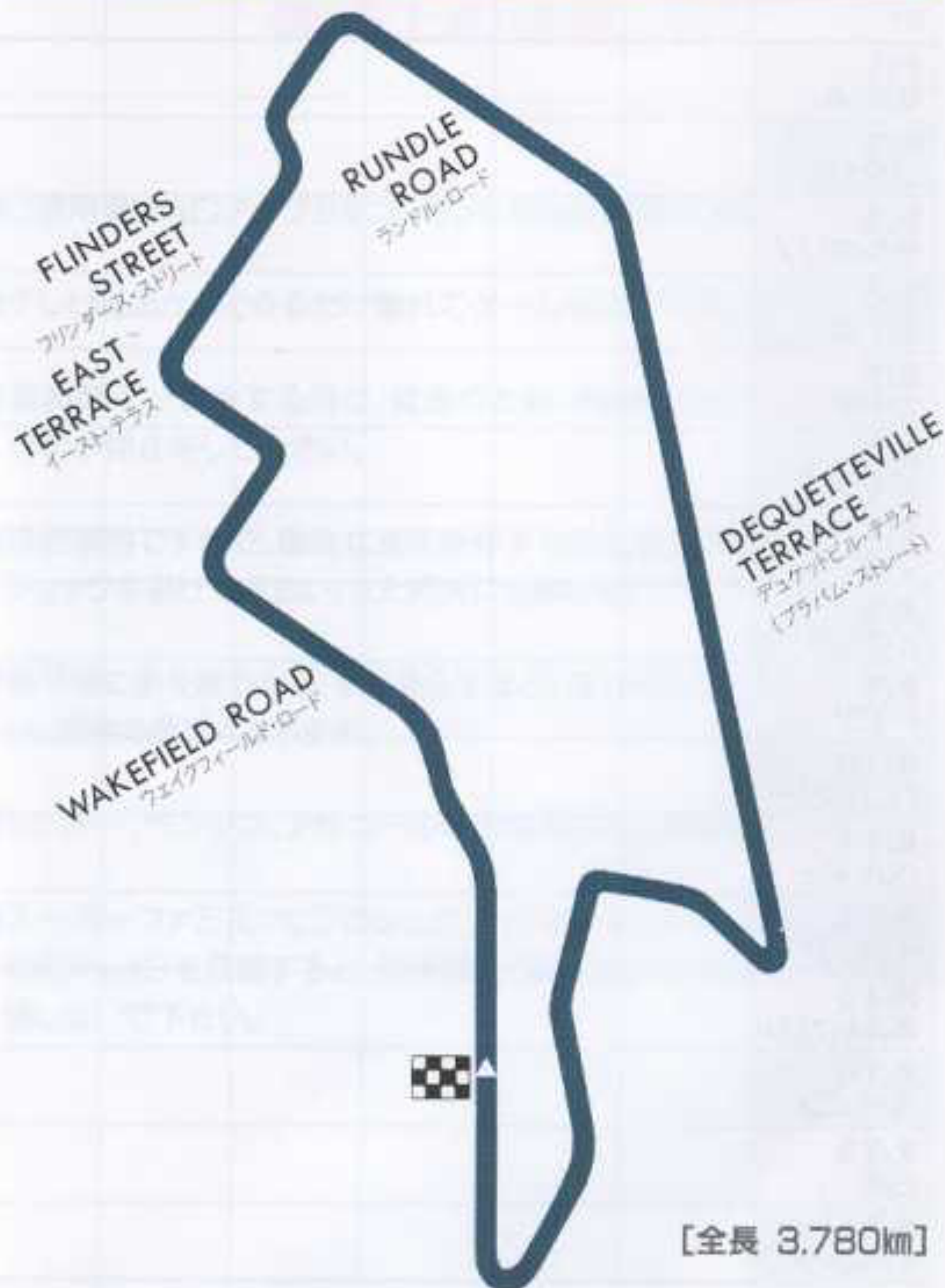
コーナーの多い高速テクニカルコースだ。第1コーナー、第2コーナー、逆バンク、デグナー、ヘアピン、スプーン、130R、シケイン、そして立体交差と、変化に富んだ難コースは、ドライバーの腕の見せどころ。過去4年連続で世界チャンプ決定の鈴鹿は、世界で最もエキサイティングなサーキットだ。

ROUND 16

AUSTRALIA GP

オーストラリアグランプリ





[全長 3.780km]

アデレード・インターナショナル・レースウェイ

公道と競馬場を組合せたセミ・ストリートのコースに、アメリカ風90度ターンがからまって、アベレージスピードの高いコースだ。ブレーキングとクーリングがレースのポイントで耐久レースのムードがある。南半球のオーストラリアは夏に向かってオープンな雰囲気。

オールラウンド・プレイヤーをめざせ!

SCORE BOARD スコアボード

ドライバー名 / GP						
R.1 U.S.A.						
R.2 ブラジル						
R.3 サンマリノ						
R.4 モナコ						
R.5 カナダ						
R.6 メキシコ						
R.7 フランス						
R.8 イギリス						
R.9 ドイツ						
R.10 ハンガリー						
R.11 ベルギー						
R.12 イタリア						
R.13 ポルトガル						
R.14 スペイン						
R.15 日本						
R.16 オーストラリア						
TOTAL						

ワールド・チャンピオンになるには、全16戦すべての闘いが得点により評価されます。優勝10ポイント、2位-6、3位-4、4位-3、5位-2、6位-1と各レースの合計得点で年間ランキングが決定します。
君の名前や君の選んだドライバー名を記入しよう。

使用上の注意

■ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいて下さい。

■テレビ画面からできるだけ離れてゲームをして下さい。

■長時間ゲームをする時は、健康のため、約2時間ごとに10分~15分の小休止をして下さい。

■精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や、保管及び強いショックを避けて下さい。また絶対に分解しないで下さい。

■端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにして下さい。故障の原因となります。

■シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないで下さい。

■スーパーファミコンにプロジェクションテレビ(スクリーン投影方式のテレビ)を接続すると、残像現象(画面ヤケ)が生ずるため、接続しないで下さい。